

特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援する。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切にされた生活を提供する。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、信頼される施設を目指す。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献する。

2 今年度重点事業目標

(1) 重度者ケアの充実

- ア 多職種でカンファレンスを行い情報共有して、嚥下機能低下防止や褥瘡予防等、利用者の心身の状態に応じたケアを行い、多職種協働で安心安全な生活を提供していく。
- イ 利用者の身体状況に応じた福祉用具を活用して負担軽減を図るとともに、ノーリフトケアの実践のため、移乗・ポジショニングの研修を実施して利用者、職員双方の負担軽減を目指す。
- ウ 嘱託医と連携を密に取り、経管栄養・たん吸引等の医療サービスを提供する。また、その他関係医療機関とも連携し、医療行為が必要な時には早急に対応し利用者の適切な健康管理に努める。
- エ 穏やかな最期を迎えられるよう、多職種で連携して利用者及び家族の気持ちに寄り添ったターミナルケアを行う。また、研修を開催し資質向上を図るとともに、偲びのカンファレンスを行い職員の心理的負担の軽減を図る。

(2) 個別ケアの充実

- ア 入所時には、家具の配置や生活リズム等を出来る限り従前の生活に近づけ、生活の継続性に配慮する。また、利用者の好みや意向をくみ取って24時間シートを作成し、日々のケアに反映していく。
- イ ICT機器を導入し、利用者の睡眠状況の把握を行って利用者個々の睡眠リズムに合わせたケアを行う。
- ウ 利用者の意向に合わせてクラブ活動や行事への参加を促し、日常生活にリズムと潤いを持たせる。
- エ 職員の経験に応じた研修を受講し、職員個人のスキルアップと利用者の安心安全な生活提供に努める。

(3) 安定した施設経営

- ア 高稼働率の維持に努める。
 - (ア) 入所年間平均97%以上、短期入所50%以上を確保する。
 - (イ) 欠員期間短縮に努める(10日以内の欠員補充を継続)。
- イ 感染症対策として、濃厚接触とならないように適切な距離の確保や換気に努め感染予防の徹底を図る。感染が判明した場合には直ちに関係機関と連携を図り、感染拡大防止と早期収束に向けた対応を行う。